

第2学年保健体育科(体育分野)学習指導案

指導者(体育領域専攻) ○○○○

(指導担当教員 ○○○○)

1. 日時 平成○年×月△日(○曜) 第4校時(11:45～12:35)
2. 学年・組 第2学年1・2組 女子40名(1組:20名, 2組:20名)
3. 場所 体育館2階
4. 単元名 ダンス
5. 単元の目標

(運動や健康・安全への関心・意欲・態度)

- ・リズムに合わせて体を動かす心地よさを味わうことにより、自発的に踊りを楽しみ、学習を進めていくことができる。
- ・グループで協力し、アイデアを出し合ったり、教えあったりして活動を進めることができる。

(運動や健康・安全についての思考・判断)

- ・仲間との関わりを深めながら、課題の解決や動きづくりの工夫ができる。
- ・リズムをとらえ、作品としてまとまるよう工夫や努力ができる。

(運動の技能)

- ・工夫した動きを、リズムにのって生き生きと踊ることができる。
- ・フォークダンスのステップを正しく踊ることができる。

(運動や健康・安全についての知識・理解)

- ・いろいろなフォークダンスの特徴や背景を理解できる。
- ・作品を作るときの手順や表現の仕方が理解できる。

6. 単元について

①教材観

一般的に、ダンスは人類の起源とともに始まったといわれている。人々は、誕生・狩り・戦いなど、人生のあらゆる機会に踊ったとされている。それは、雨乞いや神など、日常を超えた世界への願いや感謝の表出であったといえる。その後、ダンスは時代とともにいろいろな形式を生んでいった。ヨーロッパの貴族文化の中で社交ダンスが、さらにこれが音楽と結びついてバレエが誕生した。一方、民衆の間ではさまざまな民族舞踊が生まれ、踊り継がれていった。

学習指導要領におけるダンス領域では、創作ダンス・現代的なリズムのダンス・フォークダンスが主内容として取り上げられている。創作ダンスには、感情や考えていることなどを自由に動きとして表現する楽しみや、仲間と交流して踊る楽しさがある。現代的なリズムのダンスは、ロックやヒップホップなどの現代的なリズムにのって、リズムの取り方や動きを工夫して、全身でリズムをとらえて踊る楽しさがある。そして、フォークダンスには、受け継がれてきた決まった踊り方で、共通のリズムに合わせて、みんなと仲良く踊る楽しみがある。したがって、ダンス領域では、これら三つのダンスを、感じを込めて踊ること・みんなで楽しく踊ること、そして生徒たちが協力して、計画的に練習の仕方や発表の仕方を工夫することを目標としている。

②生徒観

本校では、第1・2学年の女子生徒はダンスを必修として学習する。また、第3学年の生徒は、柔道との選択した上で、選択した生徒のみが学習(男女共習)する。最近では、男女を問わずダ

ンスを取り入れた楽曲・歌手などが多く、その影響もあり「あんな風にかっこよく踊ってみたい」と思っている生徒が増えている。また、本校はダンスの中でも、現代的なリズムのダンスを中心に取り上げ、楽曲も生徒たちの希望する楽曲で決めているため、ダンスの授業を肯定的に捉えている生徒が多い。そのせいか、3年生の「柔道・ダンス」の個人選択では、男子が毎年数名ではあるが、ダンスを選択している。

この2年生を見ても、昨年の学習を通して「ダンスの授業はとても楽しかった。」と感想を持った生徒が多く、フォークダンスやグループでのダンス作りを楽しみにしている生徒が多い。また授業では、楽曲が自由に選べることもあり、運動に苦手意識をもつ生徒も自分たちのイメージに合うダンス作りを楽しみにしている。

③指導観

毎回授業のはじめに、フォークダンスを踊らせる。1年時の課題曲（エースオブ・ダイヤモンド、コロブチカ、マイムマイム）がかかると、生徒たちはすぐそのステップで踊り出すので、授業の始めに欠かさずかけるように心がけている。今年の2年時の課題曲（オクラホマ・ミキサ、タタロチカ、ミザルー）に対しても、ステップや曲の特徴を書いたプリントを配ると少人数で踊り方をマスターしようとするように、意欲が高い生徒が多いので、つまずきやすいステップを解説したり、見本を示したりして生徒の学習をフォローしていくようにしたい。また、もちろん楽しい雰囲気の中で踊れるように笑顔で元気よく踊るように指導していくことも心がけたい。

リズムダンスの作品作りでは、導入として、小作品を作らせる。基本の共通ステップを示すことで動き出しが早くなり、隊形や上半身の使い方を工夫し、手早く完成に繋げさせる。鑑賞会を通して、他の班員からアドバイスを受け、それらをもとに本作品に着手させたい。

本作品作りでは、生徒がグループ内で協力し、意見を出し合いながらダンスを楽しむことができるような学習になるように支援をしようとする。練習中は生徒の自主性を尊重しながら、少しずつ区切って練習するように助言したり、チームワークが悪く練習が進んでいないグループには中に入って話を聞いたり、隊形移動についてアドバイスをしたりなどという支援をしていきたい。

本校では、教材ごとに学習カード（個人カードと呼ぶ）に、毎回の授業の最後に生徒が学習を振り返り、次時の課題を設定し、それらを記入させている。この個人カードには、生徒が課題を設定しやすいように、今までの課題でよく使われていた「リズム感」「ダイナミックさ」「感情」「表現」「積極性」などの視点を記入している。そして、このカードから、毎時間生徒個人の課題を確認し、どこでつまづいているのかを探る手だてとしている。さらに、他の教材の時と同様に、カードにコメントやアドバイスを加えるとともに、次時の活動場面で個人指導ができるように活用しようと考えている。

7. 指導計画（全12時間）

第一次 オリエンテーション・・・1時間

第二次 1年生のフォークダンスの復習、2年生のフォークダンス、小作品の創作・・・1時間

第三次 2年生のフォークダンス、小作品の創作と発表、鑑賞・・・1時間（本時 1/1）

第四次 フォークダンスの復習、リズムダンスの作品作り・・・5時間

第五次 リズムダンスの中間発表会、鑑賞会・・・1時間

第六次 リズムダンスの作品作り・・・2時間

8. 本時の学習

①本時の目標

- ・リズムに合わせて，仲間と関わりながら楽しく踊ることができる。（関心・意欲・態度）
- ・グループごとに曲にあった動きを仲間と意見を出し合いながら見つけ，その動きに工夫を加えることができる。（思考・判断）
- ・リズムにあったステップを考え，それらを組み合わせ踊ることが出来る。（技能）
- ・タタロチカを正しく踊ることができる。（技能）
- ・タタロチカの特徴やステップを理解することができる。（知識・理解）

②本時について

本時は準備運動を兼ねて，はじめに前時の授業で学習したタタロチカを踊り，体を温める。また，その際リズムカルに動くことや声を出すところは元気に大きな声で言うようなことを確認する。

次に，前回の授業に引き続いて，リズムダンスの小作品作りに取り組み，最後に発表会をする。リズムダンスの課題曲として，J-POPの曲の中から，LOVE PSYCHEDELICOのYOUR SONGを使用する。この曲は，曲のリズムが一定で，リズムが取りやすく生徒たちにも馴染み深いので，生徒たちは前時も楽しく踊っていた。

前時の各グループの様子と指導については，次の通りである（☆：リーダー）。

1班：メンバー

☆S.K, A.K, M.N, M.N, T.Y, A.N

振り付けを主にA.Nが考えていたので，グループ全員がまず意見を出し合い，リズムに合うものを選び，みんなで創作活動を行うように指導していく。

2班：メンバー

☆M.K, M.K, A.S, S.M, A.K, M.K, H.T, N.N, I,M

それぞれが意見を出し合い活動を進めていたが，M.Kが話し合いに参加できていないときがあったので，全員の意見を聞きながら考えるように指導する。

3班：メンバー

☆R.M, E.S, A.T, H.T, M.K, N.A, M.M, M.A, Y.N

大体の形は決まっていたが最後のポーズがまだ決まっていないため，隊形の例を出し，そこからリズムに合ったものを創作できるように助言していく。

4班：メンバー

☆K.K, M.T, M.M, W.N, Y.N

形は少し見えてきているがさらに上を目指させるために，手の動きや体の動かし方などをもっと大きく表現できるようにさせる。また，お互いの意見を言い合えるように，はじめにアドバイスしたい。

5班：メンバー

☆Y.T, Y.T, M.N, H.N, A.Y, M.I, M.O, H.M, I.M, S.Y

隊形，振り付けなどを大まかに決めることができているが，まだ完全に決まっていない部分があるので，区切って練習するなど助言していく。

本時の授業では、仲間と協力し意見を交換しながら課題に取り組む力を育てていこうと考える。発表のときは、他のグループの良い所や工夫している所を見つけさせながら、鑑賞させたい。

③本時の展開

区分	学習活動と内容 (予想される生徒の反応)	指導上の留意点・支援・評価 (教師の活動)	準備物・資料 等
導入 5分	<p>1. クラス一列、身長順に二列横隊で集合する。</p> <p style="text-align: center;">入 口</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">指導者</p> <p style="text-align: center;">一組(低い)——(高い)</p> <p style="text-align: center;">二組(低い)——(高い)</p> </div> <p>2. 挨拶をする</p> <p>3. 課題について確認する。</p> <p>4. 前回の授業内容の確認をする。</p> <p>5. 本時の流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">今日はタタロチカの復習、小作品を完成させて発表を行います。</p> </div> <p>・説明を聞く。</p>	<p>○集合、整列の指示をする。</p> <p>○大きな声で挨拶をする。 ・欠席者の確認をする。</p> <p>○個人カードとグループファイルを配り、自分の課題やアドバイスを確認させる。</p> <p>○前はタタロチカをグループでリズムダンスを途中まで作ったことを思い出させる。</p> <p>○本時はタタロチカの復習、小作品を完成させて発表を行うことを説明する。</p>	CDプレーヤー
展開1 15分	<p>6. 体育館の中央にLOD(反時計回り)のシングルサークルを作る。</p> <p>7. タタロチカの踊り方を思い出す。</p> <p>8. 音楽に合わせて踊る。</p>	<p>○一組から身長順に移動させ、続いて二組の生徒が移動し、シングルサークルを作らせる。</p> <p>・指導者は円の中央に立ち、サークルの大きさなどを調整する。</p> <p>○タタロチカの踊り方を思い出させる。</p> <p>・動きを大きくするように促す。</p> <p>・ランニングステップのところは歩かないように注意する。</p> <p>・「ヤクシー」と叫ぶところは大きな声で、全員で言うように強調する。</p> <p>○音楽に合わせて踊らせる。</p> <p>■笑顔で元気に踊っているか。</p> <p>■タタロチカの特徴やステップを正確に理解し、正確におどることができるか。</p>	フォークダンスのCD

<p>展開2 25分</p>	<p>9. 発表会の内容をもう一度確認する</p> <div data-bbox="268 546 668 927" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">入り口</p> <p style="text-align: center;">5 4 3 2 1</p> <p style="text-align: center;">班 班 班 班 班</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">発表場所</p> </div> <p style="text-align: center;">↑</p> </div> <p>10. リハーサルについてと発表会の時間を確認する。</p> <p>11. グループごとの練習場所を確認し、移動する。</p> <div data-bbox="261 1442 726 1890" style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">入り口</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> 1班 2班 </div> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">3班</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> 4班 5班 </div> </div>	<p>○発表会の内容を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部で32×3の96呼間の小作品を作る。 ・前時に指示した基本の16呼間のステップをどこかに入れる。 ・サイドステップ(右, 右, 左, 左)前に4歩, 後ろに4歩の16呼間のステップを指定して手の動きや隊形をグループで考える。 ・発表会は, ステージ側で行い, 鑑賞し, グループは入り口側に, 並ぶ(ホワイトボードに発表する人と鑑賞する人の位置を書いて, 見せながら説明する)。 ・発表は1班から順に行い, 発表が終わったら次のグループはすぐ用意をする。 ・最後に鑑賞した感想を書く用紙を配る。 <p>○リハーサルと発表時間などについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会は, 全グループ合わせて7分程度を予定する。 ・リハーサルは指定場所で行う。 ・練習では壁際の鏡を活用してもよい。 <p>○練習場所を指示する。</p>	<p>ホワイトボード</p>
--------------------	--	---	----------------

<p>12. グループに分かれて、話し合いながらダンスを創作する。</p> <p>13. リハーサルを一度行う。</p> <p>14. 発表会(鑑賞会)を行う。</p> <p>15. 発表カードを受け取り、必要な内容を記入する。</p>	<p>○グループごとにダンスを創作させる。</p> <p>○作品作りはなるべく立って、体を動かしながらするように促す。</p> <p>・音楽はかけ続けておく。</p> <p>○各グループを周り、隊形、手の動き、体を使うなどのアドバイスをする。</p> <p>(・3班の最後のポーズ作りを観察する。)</p> <p>(・MKの発言の様子を観察し、必要があれば指導する。)</p> <p>○残り時間があとどのくらいあるかを所々で全体に伝え、時間内に完成するように促す。</p> <p>■グループごとに曲にあった動きを仲間と意見を出し合いながら見つけ、その動きに工夫を加えることができたか。</p> <p>○リハーサルを行わせる。</p> <p>・リハーサルの音楽をかける前に、リハーサル後に発表の隊形に並ぶように指示する。</p> <p>・リハーサルの内容を見て、必要があれば、隊形などの指示を入れる。</p> <p>■リズムにあったステップを考え、それらを組み合わせさせて踊ることができたか。</p> <p>○発表会を開催する。</p> <p>・前を向きリズムに合わせて踊るよう指示する。</p> <p>・発表カードは、発表がすべて終わってから書くので、しっかり鑑賞するよう伝える。</p> <p>・踊りが終わったら、拍手をし、踊りやすい雰囲気を作るように指導する。</p> <p>■リズムに合わせて、仲間と関わりながら楽しく踊ることができたか。</p> <p>○発表カードを配布し、記入させる。</p> <p>・指導者からの講評もおこなう。</p>	<p>発表カード</p>
--	--	--------------

まとめ 5分	今日の発表会についての自己評価, グループ内での相互評価を行きましょう。		個人カード
	17. 個人カードに次時の課題などを記入する。	○自己評価, グループ内での相互評価を行わせる。 ・カードは帰るまでに提出するように指示する。	
	18. 次時からの活動内容を確認する	○次時から, 自分たちで曲を選び, リズムダンスの創作に入るので, 次回はCDなどを持ってくるように指示する。	
	19. あいさつをし, 解散する。	○大きな声であいさつをする。 ・忘れ物などがないか, 確認する。	

④評価 (の観点と方法)

- ・リズムに合わせて, 仲間と関わりながら楽しく踊ることができたか。
 - ・グループごとに曲にあった動きを仲間と意見を出し合いながら見つけ, その動きに工夫を加えることができたか。
 - ・リズムにあったステップを考え, それらを組み合わせて踊ることができたか。
 - ・タタロチカを正しく踊ることができたか。
 - ・タタロチカの特徴やステップを理解することができたか。
- ※上記の内容を全体観察や活動場面でのグループ・個人の動きや発言, 発表カード, 個人カードの記述内容などから評価する。

⑤準備物

教師: MD「YOUR SONG/LOVE PSYCHEDELICO」, CD (MD) プレーヤー, フォークダンスCD「タタロチカ」, 発表会カード, ホワイトボード, 個人カード, グループ用ファイル